

# 令和5年度大分市社会福祉協議会事業計画

## 1 基本方針

今日、急速に少子高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎える中、これまで、世代を超えて、お互いに、支え合い、助け合ってきた地域のつながりは希薄化し、地域に暮らす高齢者や障がい者、生活困窮者への支援や災害時要援護者への対応、子どもの貧困問題など地域が抱えるニーズや課題が複雑化・多様化しています。

また、長引く新型コロナウイルス感染症により、住民の生活に様々な影響を与えており、特に外出自粛など閉じこもりによる高齢者等の虚弱化の進行や社会的孤立、失業等による生活困窮の拡大などの生活課題に迅速かつ丁寧に対応することが求められています。

大分市社会福祉協議会（以下「本会」という。）では、大分市とともに策定した、平成31年4月からの5年間を計画期間とする「第4期大分市地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画」（以下「現行計画」という。）に基づき、「支え合って 共に生きる みんなが主役のまちづくり」の実現に向けて、地域福祉の担い手づくりや校（地）区社協活動の充実、包括的な相談支援体制の構築などに取り組み、地域が抱えるニーズや課題を解決するための体制づくりや地域福祉活動を進めてきました。

令和4年度は、地域福祉に関する取組を途絶えさせないために、ウィズコロナを前提とした新しい生活様式に応じた活動の形を模索し、実践してきたところです。

令和5年度は、現行計画の最終年度となるため、計画の基本方針に基づき行った事業の集大成を示すとともに、本会の使命である地域福祉の推進を図ってまいります。

また、次期計画の策定年度であることを踏まえ、昨今の新たな福祉課題を見据えた組織基盤の整備に取り組んでまいります。

介護保険事業については、運営基盤の整備及び人材育成に努め、利用者が住み慣れた地域で暮らし続けるための質の高いサービスを提供するとともに、事業の採算性のバランスを考慮した効率的な経営判断のもと、地域の福祉サービス水準の向上に努めてまいります。

## 2 事業展開の方針

令和5年度は、「第4期大分市地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画～みんなが主役の支え合いプラン～」の基本目標である(1)地域のつながりをつくる、(2)地域で支え合う体制をつくる、(3)地域課題を解決できる体制をつくる、(4)安全・安心をつくる の4つの項目のほか、(5)に介護保険事業の経営安定化及び(6)の法人運営の基盤整備と強化を加えた6つの項目について、次のように取り組んでまいります。

### (1)地域のつながりをつくる

住民一人ひとりの人権意識を高め、地域での交流を促し相互理解を深めるとともに、地域づくりを我が事として捉え、支え合いや助け合いの理解を広める取組を進めます。また、誰もが気軽に交流できる場づくりの促進や地域情報が多くの人に届くよう、積極的な情報発信に取り組みます。

- ア 福祉学習講座や福祉副読本作成などの福祉学習支援事業
- イ サロンなどの交流の場づくりや交流促進の支援
- ウ 情報発信機能の強化

### (2)地域で支え合う体制をつくる

地域福祉の担い手を発掘・養成するとともに、ウィズコロナを前提とする新たな生活様式に対応した活動しやすい環境づくりに取り組み、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援します。

- ア 地域福祉推進委員の育成・支援
- イ 地域福祉の担い手づくりモデル事業
- ウ 地域福祉活動ボランティア支援事業
- エ 校(地)区社協活動の支援

### (3)地域課題を解決できる体制をつくる

コロナ禍において地域住民が抱える様々な生活課題に対し、気軽に相談できる総合相談窓口としての機能の充実、強化に取り組むとともに、行政、地域などの関係機関との連携強化に取り組みます。

- ア 生活困窮者自立相談支援事業の充実強化
- イ 障害者相談支援事業の充実強化

### (4)安全・安心をつくる

大規模な災害発生時に地域、社協、ボランティア、行政、関係機関等が連携して迅速かつ的確な救援活動に取り組むためには、平時から地域や行政との連絡体制の整備などが極めて重要となります。

そのため、災害時を想定した地域や行政との緊密な連携、災害ボランティアセンター運営スタッフ等の養成、災害に強いまちづくりへの取組を強化します。

また、認知症高齢者や知的障がい者等で判断能力が十分でない方の権利や財産を守り、安全・安心に暮らせるよう、権利擁護事業の更なる強化に取り組みます。

- ア 災害ボランティア活動支援体制整備事業
- イ 大分市成年後見センター事業の拡充

## **(5)介護保険事業の経営安定化**

本会の介護保険事業は、度重なる介護報酬の引き下げ等の影響で厳しい経営状況にあります。利用者増に取り組むとともに、組織のスリム化等による経費節減を主体とした経営改善に努めてきました。

令和5年度は、安定した事業運営への転換を図るため、運営基盤整備を行うとともに、積極的な人材育成によるサービスの質の向上等により経営の安定化を進めていきます。

- ア 運営基盤の整備
- イ 感染予防対策の強化
- ウ 人材の交流・育成、積極的な研修促進

## **(6)法人運営の基盤整備と強化**

「支え合って 共に生きる みんなが主役のまちづくり」の実現に向けた取組において、地域福祉の推進を使命とした本会の役割は、ますます重要となつてまいります。今後も本会の事業規模は拡大傾向にあることから、法人の管理・運営に当たっては、安定した財政基盤の確保をはじめ、事業全体の管理や総合的かつ計画的な事業執行をマネジメントする法人管理、運営部門の強化が必要です。

そのため、法人の人事、組織、財務、人材育成等に関して不断の見直しを行いながら、効果的、安定的な法人運営が可能となるよう中長期的な経営計画を策定し、組織基盤の整備に取り組みます。

- ア 中長期的な経営計画の策定
- イ 組織基盤の強化

### 3 各部署の重点事項

#### (1) 総務課

	重点事項	具体的な取組	予算
ア	中長期的な経営計画の策定	(ア) (仮称)ぶんぷく発展プランの策定	
イ	組織基盤の強化	(ア) 自主財源の確保 (イ) 職員研修の充実 (ウ) 事務の効率化 (エ) 働きやすい職場環境づくり	(ア) 一般会費 16,841 千円 賛助会費 1,731 千円 特別会費 785 千円 香典返し 7,355 千円 篤志寄附 730 千円 (イ) 671 千円 (ウ) 256 千円
ウ	情報発信機能の強化	(ア) ホームページや SNS、メディアの積極的な活用	9,202 千円

#### (2) 地域福祉課

	重点事項	具体的な取組	予算
ア	校(地)区社協活動の支援	(ア) 地域福祉推進委員の育成・支援 (イ) 校(地)区社協地域福祉活動計画の策定及び推進の支援	(ア) 303 千円 (イ) 6,516 千円
イ	地域福祉の担い手の発掘・育成	(ア) 地域福祉の担い手づくりモデル事業 (イ) 地域福祉活動ボランティア支援事業	(ア) 4,126 千円 (イ) 204 千円
ウ	次期地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定	(ア) 地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会の開催(市と合同) (イ) 校(地)区社協の協議の場を活用した住民ニーズの把握	
エ	災害ボランティア活動支援体制整備事業	(ア) 災害ボランティアの登録及び育成 (イ) 災害ボランティアセンター運営体制の充実・強化 (ウ) 平時及び災害時における情報発信の充実・強化	(ア) 659 千円 (イ) 811 千円 (ウ) 150 千円

### (3) 生活支援課

	重点事項	具体的な取組	予算
ア	生活困窮者自立相談支援事業の充実強化	(ア)生活困窮者等への就労支援及び家計改善支援の強化 (イ)大分市等関係機関との連携強化による、切れ目のない支援の実施	56,795 千円
イ	大分市成年後見センター事業の拡充	(ア)大分市と共同運営による中核機関の実施 (イ)成年後見制度に関する相談支援の充実 (ウ)成年後見制度に関する普及啓発の強化	30,912 千円
ウ	障害者相談支援事業の充実強化	(ア)市からの受託事業の着実な実施 (イ)関係機関と連携を図り、困難ケース等に積極的に対応 (ウ)感染症や災害への対応力の強化	25,300 千円
エ	地域包括支援センター運営の充実	(ア)多職種連携会議等を通じ医療と介護の連携強化 (イ)地域の課題解決に向けた地域ケア会議等の開催 (ウ)高齢者のフレイル(※)予防の実施	24,354 千円

※フレイル：高齢者の筋力や活動が低下している状態（虚弱）のこと。

### (4) 在宅福祉サービス課

	重点事項	具体的な取組	予算
ア	運営基盤の整備	(ア)LIFE を活用した介護支援システムの運用	2,896 千円
イ	感染予防対策の強化	(ア)感染症に関する委員会の設置 (イ)業務継続計画（BCP）の策定	
ウ	人材の交流・育成、積極的な研修促進	(ア)人材の交流・育成 (イ)積極的な研修促進	(ア) 300 千円 (イ) 801 千円